



# 一緒に作りあげる 教師用ガイド

## 色でひろがるクリエイティブの世界



これは先生方のための**準備**用ガイドです。Crayola Creativity Weekの日替わりテーマ「一緒に作りあげる」に向けて作成されています。思考シート「計画のスケッチを描こう」と「鳥小屋を作ろう」の2つがついており、ダウンロードや印刷が可能です。思考シートは生徒に配ってもいいですし、生徒には何も書かれていない白紙の紙で作業してもらい、思考シートを教師用のガイドとして使っても構いません。どんな場合も、生徒がさまざまな画材を使って取り組めるようにしてください。

著書『Builder Brothers: Big Plans.』の中で、ドリューとジョナサン・スコット兄弟は、子ども時代の経験として創造性をどのように育み、失敗からどう学ぶよう促されたかについてのエピソードを語っています。自分たちのクリエイティブなビジネスやテレビ番組が成功している大きな理由として、彼らは幼少期に受けたサポートを挙げており、創造力に対する子どもの自信を高めることの重要性を強調しています。なぜなら、創造力とはいくつになっても価値のあるマインドセットだからです。

本では、「どんな大きな計画も夢から始まる」というのがスコット兄弟の信念の一つだと書かれています。この言葉にどんな意味があり、彼らのような革新的な建築家が、計画を立てて実行する上でとても重要な第一歩は夢を見ることだと考えているのはなぜなのかを、生徒に尋ねてみましょう。

Creativity Weekの動画の中でスコット兄弟が話しているアイデア、たとえば想像を形にすることや、色を使って創造力を刺激することの重要性などは、あなたのカリキュラムにどう結びつきますか？ 生徒たちは、こうしたメッセージを実生活にどう応用して、計画を具体的に描き、想像したものを形にすることができるでしょう？



### 学習目標 - 生徒にできるようになってほしいこと：

- ・遊び心にあふれたデザインと建物に対する、ドリューとジョナサン・スコットの長年の情熱にインスピレーションを受ける
- ・革新的な考え方を取り入れて、計画についてじっくりと考え、ブレインストーミングし、設計し、改善する
- ・失敗から学んだ経験を振り返る
- ・みんなで力を合わせて、新しく創造的なソリューションを生み出す中で、自分とクラスメートの強みを見極める



「計画のスケッチを描こう」の思考シートを使って、年齢に関係なく、建築家や大工、リフォーム業者、デザイナーはまず創造的なイメージを持つということについて、生徒に**考えてもらいます**。「アイデアを目に見える形にする」とはどういうことなのかを尋ねましょう。

一人でじっくり考えるのでも、少人数のグループに分かれてブレインストーミングのセッションを行うのでも構いません。あるいは、クラス全体で話し合っ、建物を作り上げることにについて自分たちが興味深いと思う側面を考えるのもよいでしょう。



生徒には、スケッチを**描く**前に、自分ができるさまざまなタイプのデザインを考えてもらいます。その際、創造力は、発散的思考（たくさんのアイデアを考え出すこと）と集中的思考（アイデアを整理して、実際に使うものを特定すること）の両方に関係していることを説明します。生徒がデザインをする際に、色が創造力を刺激するということを認識してもらいましょう。あまり見ない変わった特徴やデザイン要素、斬新な色使いもオープンに受け入れるよう促しましょう。



生徒に、スコット兄弟から学んだことと実際の体験を**結びつけて**考えてもらいます。ドリューとジョナサンと同じような失敗をしたことはありますか？ 彼らは、計測やコミュニケーション、設計の失敗から学んだことを、他のプロジェクトにどのように生かしたでしょう？ 地元の専門家や経験豊富な地域の人たちをクラスに招いたり、ビデオチャットをつなげたりして、創造プロセスや失敗から学んだ経験について話してもらい、つながりを広げましょう。



生徒がスケッチを**発表**する際は、その背景にある考えについて尋ねます。発散的思考として、デザインを一つに絞る前に、他にどんな案を考えたか？ 集中的思考として、どのような考えからその一つのデザインに絞ったのか？などを尋ねます。「思い付いたアイデアをナプキンの裏にスケッチする」とはどういう意味でしょう？ また、それがアイデアを形にして共有するのに役立つのはなぜでしょう？



Builder Brothers: Big Plans  
HarperCollins Children's Books  
Text copyright ©2018 by SB Publications, LLC  
Illustration copyright ©2018 Kim Smith



色でひろがるクリエイティブの世界  
教師用ガイド

©2025 Crayola



# 一緒に作りあげる 教師用ガイド

## 色でひろがるクリエイティブの世界



「鳥小屋を作ろう」の思考シートを使って、ドリユーとジョナサンが計画したものがどういう経緯で最終的に鳥小屋になったのかを**考えてもらいます**。

鳥小屋について考える第一歩として、鳥小屋を飾る模様やイメージの平面図を描いてもらいましょう。学びをさらに深めるには、リサイクル素材を使って鳥小屋を立体的に作るのもよいでしょう。鳥小屋は機能性よりもデザイン重視なので、洗って乾かした牛乳パックを再利用するのも一案です。立体的な鳥小屋を作るのに必要なその他の材料（工作用紙、定規、はさみ、ひもなど）は生徒に決めてもらいましょう。



鳥小屋の形や飾りを**デザイン**する際は、どんな形や色、模様が鳥を惹きつけるかを考えてもらいます。調べていくうちに、鳥は、青や緑、紫など、自分の羽根の色に似た色の巣に惹かれる傾向があるということが分かるはずです。また、木の枝など、自然の中で羽根が溶け込むような巣を好みます。こうした気づきは、カムフラージュについて話し合うきっかけになります。鳥がくつろいで安心できるような形や模様をデザインするように促しましょう。



エマ F.

スミソニアン国立アメリカ・インディアン博物館や、国立アフリカ系アメリカ人歴史文化博物館、ソロモン・R・グッゲンハイム美術館などの建築はどれも興味深く、斬新な建物をデザインする際のヒントになるので、紹介してみましょう。



生徒がデザインを**発表**する際は、意思決定のプロセスについて説明してもらいましょう。また、クラスメートのデザインに見られるユニークな特徴や視覚的に面白いアイデアがあれば、それについても話し合ってもらいます。



自分の考えた鳥小屋やデザインを数学と**結びつける**ことで、形、線、角度、対称性、パターン、シンボルなどの概念が実際にどのように使われているのかがわかるようになります。他にはどんな数学的要素がデザインに使われていますか？



「一緒に作り上げる」のアクティビティを終えたら、**学習目標**について生徒と話し合います。自分の立てたプロセスについて振り返ってもらいましょう。年齢の低い生徒には、創造力を発揮するのにブロックや連結ブロックなどの有形物を使うとよいでしょう。年齢の高い生徒には、このアクティビティがコミュニティの中で実際に体験できるきっかけとなるよう、建設中や改修中の建物を観察してみることをおすすめします。柔軟で創造的な考え方が採用されているものは、年齢を問わず、私たちの身の回りにあふれています。